

SNSを活用して農業をPR 時代に合った方法で魅力を伝えたい



輝くみらい人

黒石基幹支店山形支店管内

渡邊 祐 幸 さん (27歳)

わたなべ ひろゆき

○農業を始めた経緯

子どもの頃から家の農作業を手伝っていましたが、労働力不足で大変な思いをしている両親を見て、農業を継ごうと思い4年前に就農しました。

○就農当初の悩み

周りに同年代の生産者がいないため、農業の相談ができないことが悩みでした。黒石市役所農林課が開いている交流会で同世代の生産者と知り合うことで、相談や情報交換などができるようになり、仲間作りは農家にとって大切なことだと感じました。今後も積極的に繋がりを広げていきたいと思っています。

○自分で工夫していること

消費者や若い世代に農業のことを知ってもらうため、収穫したりんごや農園の風景などの写真をSNS（Instagram）に投稿しています。昨年から、りんごをPRするため「文字入りんご」を作り、写真を投稿しています。文字入りんごには、食べた人が幸せになってほしいという想いを込めて祖父、父、私の名前にも含まれている「幸」の字を入れています。

○将来の夢や今後の目標

SNSの活用など、今の時代だからこそできる方法で農業の魅力や楽しさをPRしたり、消費者のニーズを把握していきたいと思っています。そして自分が発信したことで、農業に関心を持つ人や、農家を目指す人が増えることを願っています。